

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	法学部	法律学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ビリニュス大学 (リトアニア)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Institute of International Relations and Political Science		
報告書提出日	2019年2月24日		
留学予定期間	2019年1月～2019年6月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 175.47 (ユーロ) /合計

航空券代： 96850 (円) /合計

ビザ申請関連費： 0 (円) /合計

その他 (): (通貨入力) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？約 35 万 (円) /合計

11/6 オンラインで出願申請

11/15 申請した内容をシステムが生成したものが送られてくるのでそれに国際センターでサインをもらってメール提出

11/20 入学許可のメール受信

11/26 寮確定とビザの手続きについてのメール受信

12/6 保険の申請を国際センターに提出

12/7 航空券予約(オープンチケット、最寄りの HIS で話を聞いてネットで購入した)

12/? 英文残高証明書発行(円表記でも問題なかった、費用は 700 円くらい)

12/20 リトアニア大使館にビザ申請の面接申し込みの旨のメール送信

1/4 リトアニア大使館でビザの申請

持ち物 事前にオンラインで必要事項を入力し印刷した申請用紙、航空券の e チケット、残高証明書(奨学金の需給証明書も)、証明写真、保険の証明書、英文の在学証明書(大学の発行機で発行 300 円)、パスポート 書類は返却されなかった 面接は特に難しいことなどは聞かれなかった

1/15 ビザ受け取り(訪問か郵送してもらおうか選べるが受け取りに行った)→書類完了

1/29 出発

出発までに歯医者に行った。問題なかったから良いが、あったら治療に時間かかると思うので早めに行った方が良かった。携帯は渡航先の SIM カードを使うため、日本の携帯会社の手続きに沿って SIM フリーにした。

またメンターを大学から希望するか聞かれ希望した。出発 1、2 週間目になるとメンターからの連絡や寮や到着後の大まかな日程などのメールが届いた。このときの寮と以前にもらったメールに記載されて

た寮が違ったが直前のメールの方が正しかった。メンターやオリエンテーションのイベントなどについては Facebook で主に情報共有した。

1.2. 渡航について

1/29 13:10 成田空港出発 17:30(モスクワ時間) シュレメチェボ空港着 21:30 出発 22:20(ヴィリニュス時間) ヴィリニュス空港着 安さを求めてアエロフロート航空を選んだが問題はなかった。しかしシュレメチェボ空港でのトランジットが混雑しすぎて大変だった。またシュレメチェボは空港内にフリー Wi-fi があるが SMS での認証が必要なため自分は日本の携帯の番号を使えなくしていたため Wi-fi は使えなかった。

ヴィリニュス空港到着後は連絡していたメンターが名札を持って迎えに来てくれた。寮までバスかタクシーどちらがいいかと聞かれたので荷物もあったのでタクシーで行った。10分少しで着いて2ユーロ。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

◇手続き方法

自分の寮は24時間ガードの方がいる寮だったので22:30頃に到着しても問題なくパスポートを見せて名前を書くぐらいで鍵をもらって部屋に入ることができた。

寮には大学の Wi-fi と寮の Wi-fi があるが大学の Wi-fi は登録がまだなので使えずとりあえず有料の寮の Wi-fi に登録した。メンターがそれも手伝ってくれたので無事できた。

次の日他の寮にいる寮の管理人の元へ行き、正式な手続きをして初月の寮費とデポジットの分の請求書もらった。持ち物はパスポートだけで良かった。しかしビザの期限をある程度予測した帰国日までの6月25日にしていたので正式な春学期の期限の6月いっぱいまでなのと食い違って少し手続きが戸惑った。2月分の寮費はデポジットも含め175.47ユーロで maxima というスーパーで払った。現金とカードのどちらでも払えた。

◇気付き

寮の中はそこまで暖房設備が目に見えて機能しているようには見えないが不思議と暖かかった。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

渡航前にビザは取っていたので特に必要はなかった。

在留届は到着後1週間以内にネットで登録した。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイズメントテスト等の学内手続き

1/31-2/5 オリエンテーションウィーク (参加は強制ではないが参加した方がよい)

1/31 大まかな留学生活についての説明(リトアニアの歴史や人々の考え方、交通機関の使い方や緊急時の対応方法など)、カラオケパーティー

2/1 図書館ツアー、ヴィリニュスの街のツアー、speed friending(友達を作る目的のイベント)

2/2 グループでヴィリニュスを散策するイベント

2/3 メンターとそのグループで自由に予定を決めて過ごす一日

2/4 それぞれの学科の説明会、リトアニア語講座、pub quiz(グループに分かれてクイズ大会)

2/5 それぞれの学科の説明会(前日行われなかった分)、international fair(自分の国の料理を持ちよる)

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

帰国後 TOIEC L&R800 点を取得できるレベルまで語学力を高める。そのために様々な人々と交流し、リスニング力をつける。またあらゆる文化感に触れ、異文化理解を深めるとともに自国についての新たな視点を獲得する。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

1 年次に TOEFL 対策講座と 1,2 年次に法学政治学英語特講を受講し英語力の向上を図った。受講後資格試験での点数の伸びの確かな手応えを感じた。また英語の podcast などのラジオを聴き日頃から英語に触れるようにした。

しかし到着後あまり対策できてなかった speaking はもとより listening もなかなか聞き取れなかった。まずは listening 力を高めていきたい。

3.3. 今月の学習・研修目標

listening 力が乏しいので録音した授業を聞き返して理解を深めるところから始めたい。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	
火	Lithuanian Language(11:00-12:30) Information War Between USSR and the West(13:00-15:00)
水	Lithuanian Language(15:00-16:30)
木	Small States Studies(9:45-11:15) Media in Conflict(11:30-13:00)
金	Lithuanian Language(13:00-14:30)
土	
日	

4.2. 授業について

① Lithuanian Language : (90 分/1 コマ)(3 コマ/週)

初級のリトアニア語を英語で学ぶ授業。講師と学生の距離感が近くペアワークなども多い。講師の英語は分かりやすく授業の内容的にも難しい単語などもないので理解できている。宿題は簡単な問題演習が毎回でる。

評価方法 出席 宿題 10%、中間テスト 20%、期末試験 70%

② Information War Between USSR and the West : (90 分/1 コマ)(1 コマ/週)

少人数の講義形式。内容は第二次大戦後や冷戦での情報のやり取りについて。発言の機会が多いのでなんとか機会を見つけて発言したい。

評価方法 50%参加、50%プレゼンテーション

③ Small States Studies :(90 分/1 コマ)(1 コマ/週)

少人数の講義形式。リトアニアをはじめとするバルト3国などの小国についての講義

評価方法 100% 期末試験 or エッセイ

④ Media in Conflict :(90 分/1 コマ)(1 コマ/週)

少人数の講義形式。

評価方法 20%参加、40%プレゼンテーション、40%期末試験

4.3. 予習・復習・自習について

①配布テキストの宿題を毎回確実に理解して行なっている。

②録音した授業を聴き返している。またプレゼンの内容が既に決まったので情報收拾も始めた。

③録音した授業を聞き返している。

④録音した授業を聴き返している。

まだほとんどの授業が始まったばかりなので分からないことが積みかさらないように毎回の復習を徹底してそれでも不明な点があったら積極的に質問するようにしていきたい。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮 (その他:)
----	-------------

例年に比べて今年の2月はそこまで寒くないらしく自分でも予想より寒くはなく寒さに耐えることができている。しかし最初の1週間以上は1度も晴れることがなく気分も陰鬱になり気味だった。食事についてはほとんど自炊をしたことがなかったのでこれを機に少しずつ挑戦している。しかし物価が安いので自炊しなくても健康面でありあまり良くはないが金銭面での問題はないと思う。寮の生活も設備や騒音等も今の所そこまで気になる程でもない。

5.2. 課外活動について

留学生のためのメンターをしている学生の団体が様々な企画をしてくれているので、そのイベントで留学生と交流したり近場の旅行にも行くことができた。16日は独立記念日で街全体でそれを祝うムードに満ちていてとても良いと感じた。また先日は book fair にも行った。特に旅行に行かなくても街の中で様々なイベントが催されており、現地の生活により深く関われる機会に恵まれていると感じる。

5.3. 現在までの感想

最初の2,3日は英語も十分には話せないのに加えて街中では全く分からないリトアニア語で溢れていてこれから大丈夫かと不安になったが、1週間もすると環境にもなれ、そのような不自由な環境自体も楽しめるようになってきた。またリトアニアの人々はあまり表情の変化がなく買い物をする時など冷たく感じることもあったがありがたいをリトアニア語で言うだけで多くの人が笑顔で返してくれて言語の偉大さを感じた。しかし街中はリトアニア語であるため想像していたよりも英語を使う機会が多くないので、自分から留学生と話す機会をさらにつくるようにしたい。

以上

神奈川県派遣交換留学生 近況報告書 (4月)

所属	法学部	法律	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ビリニュス大学 (リトアニア)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Institute of International Relations and Political Science		
報告書提出日	2019年 4月 18日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

帰国後 TOIEC L&R800 点を取得できるレベルまで語学力を高める。そのために様々な人々と交流し、リスニング力をつける。またあらゆる文化感に触れ、異文化理解を深めるとともに自国についての新たな視点を獲得する。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

授業が始まり遅れを取らないように復習はしっかりと取り組んでいたと思う。しかしなかなか授業で発言したりすることはできなかったため、その場での理解をよりできるようにするためにも予習をさらにする必要があると感じた。

1.3. 今月の学習・研修目標

授業のやり方にも慣れてきたので上記の通り予習を頑張りたいと思う。

2. 学修について

2.1. 授業について

①Lithuanian Language : (90分/1コマ)(3コマ/週)

内容が複雑に難しくなってきたが、授業はとても丁寧で分かりやすい。

②Information War Between USSR and the West : (90分/1コマ)(1コマ/週)

講義形式から学生ごとのプレゼンテーションの形式に移行した。毎回新しい発見がある。

③Small States Studies : (90分/1コマ)(1コマ/週)

基本的には毎回講義でバルト諸国についての内容が深くなってきている。また近くの教会や博物館にも授業内で訪れた。

④Media in Conflict : (90分/1コマ)(1コマ/週)

講義の内容がより実用的なプロパガンダの話になってきた。次回からはグループに分かれて war simulation game をする予定。

2.2. 予習・復習・自習について

①毎回の宿題で文法などの授業でやった主な内容は理解できている。しかし個々の単語などをなかなか完璧に覚えることは容易ではないので期末試験までにしっかりと対策したい。

②自分の番のプレゼンテーションが近づいてきたので早めに取り組んでいこうと思う。

③講義の復習はできていると感じている。学術的な単語やヨーロッパの団体などあまり馴染みのない単語が多々あるので予習でできるだけ理解して講義に取り組みたいと思う。

④reading の課題のおかげでプロパガンダや情報戦争についての理解が深まってきていると感じる。しかしこれからは war game でのより具体的な知識が必要になるので予習をしっかりしていきたい。

2.3. 語学力について

講義で課される reading 課題をこなすうちに大量の英文を処理する速度は少しは速くなったと思う。通学のバスでは英語の音声を聞くようにしている。スピーキングについては思ったより寮内でも会話をする機会がそこまでないのでイベントなど話す機会に積極的に参加するようにしたい。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学外寮（その他： ）
----	------------

寒さにも慣れてきたがまだまだ暖かいとはいえず、また1日を通して気温の変化が大きくなるのが難しい。食については少しづつ自炊にも慣れてきた。しかしキッチンを使う人数が多くなかなか自分の使いたいタイミングで使うのが難しい。ルームメイトについてもとても良い人で不満はない。しかし自分のタイミングでトイレが使えなかったり、生活サイクルが違ったりと細かいことで気になってしまうことはある。

3.2. 課外活動について

休日は旅行やヴィリニェス で開催されてるイベントなどに参加したりと刺激的な日々を過ごしている。

3.3. 現在までの感想

二ヶ月がすぎこちらの生活にもだいぶ慣れた。残りももう約二ヶ月と考えると時が経つのはとても速いと感じている。少しでも充実した残りの留学生生活を過ごせるように努めたい。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	法学部	学科	法律学科	3 年次
派遣先大学 (国)	ビリニユス大学 (リトアニア)			
所属プログラム・ 学部・研究科	Institute of International Relations and Political Sciences	履修言語	英語	
留学期間	2019 年 1 月～2019 年 6 月			
報告書提出日	2019 年 7 月 15 日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Spring Semester	2 月 6 日 ～5 月 31 日 (15 週)	6 月 3 日 ～6 月 30 日	出願申請の際に履修する予定の科目を記入したが、現地到着後のオリエンテーション期間でもらったタイムテーブルではかなり変更があり当初履修予定だった科目同士が同じ時間にあったり、博士課程の学生用になっていたりと出願時に決めた内容はあまりあてにならなかった。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Spring Semester	Lithuanian Language	58.5 時間	初級レベルのリトアニア語を英語で学ぶ授業。少人数で会話の機会も多く活発な授業。中間試験、期末試験、授業態度での評価。試験は reading、listening、writing の 3 項目。
		1.5 (時間/回) × 3(回/週)	
		× 13 (週)	
Spring Semester	Information War between the USSR and the West	22.5 時間	第 2 次大戦、冷戦期のソ連と西側諸国の歴史について学ぶ授業。前半の 4 回ぐらいは教授による講義で、その後は各学生たちによる各々が決められた冷戦にまつわるテーマの中から選択した内容についてプレゼンテーションを行う。評価はプ
		1.5 (時間/回) × 1 (回/週)	
		× 15 (週)	

			レゼンテーションと冷戦にまつわる自分が自由に選択したレポートによって。
Spring Semester	Small States Studies	22.5 時間	リトアニアの歴史を中心にバルト3国などの小国のあり方を学ぶ講義。何回か授業では歴史ある教会や歴史博物館、軍事施設の見学などの貴重な体験もできた。評価は期末試験か最終レポートのどちらかを自由に選べた。
		1.5 (時間/回) × 1 (回/週) × 15 (週)	
Spring Semester	Media in conflict	22.5 時間	主にプロパガンダなどの戦略を学び、メディアについての理解を深める講義。前半は教授による講義で、後半は学習した戦略などを用いたグループ対抗のウォーゲーム。評価はウォーゲームと期末試験によって。
		1.5 (時間/回) × 1(回/週) × 15 (週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

教授に許可をもらい講義を録音し、講義中は知らない単語等はもれなくメモしあとで調べるように努めた。予習では宿題の場合はもちろん、講義によっては reading 資料が用意されていたのでなるべく読んでから講義に臨んだ。

1.4. 語学力について

Listening はある程度自信があったにも関わらず、序盤は各留学生の英語の流暢さや様々なアクセントがかなり聞き取ることが難しかった。しかしそれは時間が経つにつれかなり慣れることができたと思う。
Reading については日本にいるときにはなかなか自分で取り組むのが難しいほどの量を読んで読むスピードも上がったし英語を読むことにもかなり慣れたと思う。
Speaking は元々苦手意識があったこともあり、最初はかなり戸惑ったが周りもわかってきて自分の中での意識も変わることができた。
Writing についてはいくつかレポートを書くことはあったがあまり長文を書く機会はなくあまり成長はなかったように感じる。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

リトアニア語の授業については最初全く分からない言葉で溢れていた街中が、帰国する前にはどのようなことを表しているのか分かり生活する上で履修して良かったと思う。更にリトアニア語を少し話せたことで現地の人たちとより接することができたと感じられることもあった。また自分にとって初めての英語以外の外国語を学習する機会であり、世界最古の言語の一つであるリトアニア語の学習は難しかったが様々な発見があり他言語や言語学の分野についての関心も高まった。
 自分がリトアニアを選んだ理由の一つである冷戦について理解を深めることもできたと思う。リトアニアという国については高校の世界史でもほとんど学習する範囲には入っておらずほとんど知識のない状態で渡航したが、想像以上にソ連との結びつきが強く日本はもちろん他のヨーロッパ 諸国でも体験

できない感覚を得られたように感じる。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

英語の学習をするにあたって授業が始まれば教材に困ることはないが、授業開始までのオリエンテーション期間が意外と長く単語帳などを日本から持参すれば良かった。

2.3. 留学生活で得られたもの

まずは行動力がついたと感じる。元々一人で行動することには慣れてはいたが、現地では本当に自分から行動を起こさないと何もできないためそこは成長できたと感じる。

異文化理解ももちろん深まったと感じる。様々な国々の文化観、また同じ国でも人によって感じていることが違うという当たり前のことだがなかなか気づけないことも身をもって感じられた。そして自分の国である日本についても考える良い機会になった。日本にいた頃には考えられなかった視点で見ることができるようになったし、今までそれが当たり前で自分の中で常識化していたことに疑問を持てるようになった。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

最初はせっかく外国に来たのだから外国人と接するために日本人とはあまり話さないでおこうという意識があったが、あまりそういう意識はせずある程度しっかり関わった方が良かったと思う。なぜなら日本人の人たちしか持ってない自分にとって参考になる情報は少なからずあり、やはり感覚も自分には近い存在だと言えるので情報を得て生活をする上では重要なことだと思った。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年7月13日

所 属	法学部 () 研究科	法律学科・専攻	3 年次
派遣先大学	ビリニユス		6 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	(ドイツ人のルームメイトと二人部屋)
3	入居時手続き	(寮の入り口で名前を伝え鍵をもらい、後日管理人のいる他の寮で細かな手続き)
4	費用 (月額)	87 (€) (食費含まない/月)
5	支払方法	月ごとにクレジットカードか現金で
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	(徒歩5分圏内に大きめのスーパー、2分ほどにバス停あり)
9	アクセス	(徒歩で25分、バスと徒歩で20分)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(olandy の寮が一番綺麗で大学や街の中心地にも近いのでそこを希望するのが良いと思う)
11	引越された方は引越し先の住居形態を記入 ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
12	詳細を教えてください	()

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入

3	現地携帯電話の取得手続きの方法	()
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		
1	宿舍費	87 (€) /月
2	食費	200 (€) /月
3	交通費	5.8 (€) /月
4	通信費	5 (€) /月
5	娯楽費	100 (€) /月
6	図書費	0 () /合計
7	学用品 (教科書など)	0 () /合計
8	被服費	5 (€) /合計
9	医療費	0 () /合計
10	雑費・その他	20 (€) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)		
11	出願料・宿舍デポジット	87 (€) /合計
12	ビザ申請関連費	0 () /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	110000 (円) /往復
14	その他	20万 (円) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	70万 (円) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時 : 3万円) <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名 :) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (マネパカード)	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	お金に関するアドバイス	マネパカードは持って行って良かった

IV. 保険・医療について

1	海外旅行 (留学) 保険の種類	C18 (5 か月分で 49660 円)
---	-----------------	-------------------------

2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参した方が良かったと思う薬などがありますか？理由はなんですか？	特になし

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
	海外対応のドライヤー
2	現地で購入したもの
	シャンプー、洗剤など
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの
	インスタントの味噌汁

VI. 留学先で困ったこと

郵便局などで英語が通じなかった。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

情報收拾はするにこしたことはないと思う。リトアニアに関しては他のヨーロッパ諸国なら手に入る日本食関連のものもなかなか手に入れるのが難しいことがある。